



平成29年度(後期) 技能検定受検案内

(国 家 試 験)

技能検定制度は、職業能力開発促進法に基づいて、皆さんの技能の程度を一定の基準により検定し、これを公証する国家検定制度で、厚生労働大臣が定める実施計画に従い、鳥取県知事及び鳥取県職業能力開発協会が実施しています。

この技能検定は、検定職種ごとに特級、1級、2級、3級及び単一等級に分けて行い、合格すると、特級、1級及び単一等級については厚生労働大臣名、2級及び3級については鳥取県知事名の合格証書と技能士章が交付され、技能士の称号を得ることができます。

平成29年度後期の変更点

※受検申請にあたり、全ての方に「本人確認書類」の添付が必要になりました。

※35歳未満の方は、2級及び3級の実技試験受検料が引き下げになりました。

平成29年9月1日

鳥取県職業能力開発協会
〒680-0845 鳥取市富安2丁目159
(久本ビル5F)
電話 (0857) 22-3494
FAX (0857) 21-6020
http://www.hal.ne.jp/syokunou/
e-mail syokunou@hal.ne.jp

1. 実施職種

特級・・・・・・12職種

【受検申請受付 10月2日(月)～10月13日(金) (郵送の場合は10月13日の消印まで有効)】

職 種 名	受検手数料(円)		学科試験日 (平成30年)	実技試験のうち試験日が指定されているもの等 (平成30年)
	実技試験	学科試験		
金属熱処理、機械加工、放電加工、金属プレス加工、めっき、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、空気圧装置組立て、建設機械整備、紳士服製造、プラスチック成形	17,900	3,100	1月28日(日)AM	1月28日(日)PM 計画立案等作業試験

1級、2級・・・・・・20職種 23作業

職 種 名	作 業 名	受検手数料(円)					学科試験日 (平成30年)	実技試験のうち試験日が指定されているもの等 (平成30年)
		実 技 試 験				学科試験 1級・2級		
		1級	2級					
		35歳以上	35歳未満	35歳以上の在校生	35歳未満の在校生			
鍛 造	プレス型鍛造作業	17,900	17,900	8,900	17,900	8,900	1月21日(日)AM	1月21日(日)PM 計画立案等作業試験
機 械 検 査	機械検査作業	14,900	14,900	5,900	※11,900	2,900		
電 気 機 器 組 立 配 管	シーケンス制御作業 建築配管作業 プラント配管作業	17,900	17,900	8,900	17,900	8,900	3,100	1月21日(日)AM 1月21日(日)PM 1級計画立案等作業試験 1月28日(日)PM 計画立案等作業試験 1月28日(日)PM 計画立案等作業試験(注1) 1月28日(日)AM 1月21日(日)製作等作業試験(注2) 1月28日(日)PM 2月4日(日)AM 2月4日(日)PM 1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験 1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験
型 枠 施 工	型枠工事作業							
ガ ラ ス 施 工	ガラス工事作業							
農 業 機 械 整 備	農業機械整備作業							
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	冷凍空調和機器施工作業							
石 材 施 工	石材加工作業							
防 水 施 工	合成ゴム系シート防水工事作業							
	塩化ビニル系シート防水工事作業							
	改質アスファルトシート工法防水工事作業							
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	機械製図CAD作業							
さ く 井	ロータリー式さく井工事作業	17,900	17,900	8,900	17,900	8,900	1月28日(日)PM	1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	鉄道車両点検・調整作業							
建 築 大 工	大工工事作業	17,900	17,900	8,900	17,900	8,900	2月4日(日)AM 2月4日(日)PM	1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験 1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験
か わ ら ぶ き	かわらぶき作業							
塗 装	鋼橋塗装作業							
ロ ー プ 加 工	ロープ加工作業							
空 気 圧 装 置 組 立 鉄 筋 施 工	空気圧装置組立て作業 鉄筋組立て作業	17,900	17,900	8,900	17,900	8,900	2月4日(日)PM	1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験 1月14日(日)判断等試験及び計画立案等作業試験
コ ン ク リ ー ト 圧 送 施 工	コンクリート圧送工事作業							

単一等級・・・・・・2職種 2作業

職 種 名	作 業 名	受検手数料(円)		学科試験日 (平成30年)	実技試験のうち試験日が指定されているもの等
		実技試験	学科試験		
電 子 回 路 接 続	電子回路接続作業	17,900	3,100	2月4日(日)AM	(注3)
樹 脂 接 着 剤 注 入 施 工	樹脂接着剤注入工事作業				

3級・・・・・・8職種 8作業

職 種 名	作 業 名	受検手数料(円)					学科試験日 (平成30年)	実技試験のうち試験日が指定されているもの等
		実 技 試 験				学科試験		
		35歳以上	35歳未満	35歳以上の在校生	35歳未満の在校生			
電 気 機 器 組 立 内 燃 機 関 組 立 造 園	シーケンス制御作業 量産形内燃機関組立て作業 造園工事作業	17,900	8,900	※11,900	2,900	3,100	1月21日(日)AM 1月28日(日)PM 2月4日(日)AM 2月4日(日)PM	(注4)
家 具 製 作	家具手加工作業							
機 械 加 工	普通旋盤作業							
建 築 大 工	大工工事作業							
電 子 機 器 組 立 機 械 検 査	電子機器組立て作業 機械検査作業	14,900	5,900	※9,900				

35歳未満とは、平成29年度については、昭和57年4月2日以降に生まれた方です。

在校生とは、受検申請を行う時点で県内に設置されている以下の①から⑦のいずれかに在籍している方です。

- ① 公共職業能力開発施設(短期課程の普通職業訓練を受けている方は除く) ② 認定職業能力開発施設(就職者及び短期課程の普通職業訓練を受けている方は除く)
③ 高等学校または中等教育学校の後期課程 ④ 専修学校又は各種学校 ⑤ 高等専門学校 ⑥ 短期大学 ⑦ 大学

受検手数料欄の※35歳以上の在校生の方の手数料については、35歳未満の在校生との手数料差額相当額を受検者に鳥取県から別途奨励金として支給予定です。

注意事項

(注1) 冷凍空調和機器施工作業は、「ガス溶接作業主任者免許証」又は「ガス溶接技能講習修了証」を携帯していなければ実技試験(製作等作業試験)を受検することができません。(確認のため、受検申請時に免許証の写しを添付してください。)

(注2) 機械製図CAD作業は、各事業所毎に実施しますが、実施に係る条件等がありますので事前にご連絡ください。

(注3) 樹脂接着剤注入工事作業の実技試験の申込みは、試験設備の関係で申込み順に12名までとさせていただきます。

(注4) 3級造園工事作業は学科試験のみの受検申込みに関限り受け付けます。

施設、機械の消化能力等により、受検人数を制限させていただく場合があります。その場合は申込み順とさせていただきます。

また、受検者の少ない職種は、実技試験が実施できない場合があります。予めご了承下さい。

【実技試験】実技試験の中で試験日の指定のない試験については、平成29年12月4日(月)～平成30年2月18日(日)の期間内の指定する日が試験日となります。

2. 受検資格

技能検定には、特級・1級・2級・3級・単一等級それぞれに受検資格があり職業訓練歴や学歴により下表のとおり定められていますが、いずれも検定職種に関する実務の経験が必要です。

● 特級

同一職種の1級技能検定に合格した方で、その後5年以上その職種の実務経験がある方です。

● 1級・2級・3級・単一等級

(単位：年)

受検対象者 (※1)	1 級		2 級		3 級 (※4)	単一等級
	2 級 合格後	3 級 合格後	3 級 合格後	3 級 合格後		
実務経験のみ	7		2		0 (※5)	3
専門高校卒業 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業	6		0		0	1
短大・高専・高校専攻科卒業 専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業	5		0		0	0
大学卒業 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業	4		0		0	0
専修学校(※2)又は 各種学校卒業(厚生労働大臣が指定したものに限る。)	800h以上 1,600h以上 3,200h以上	2	4	0	0 (※6)	1
	0				0	
	0				0	
短期課程の 普通職業訓練修了	700h以上			0	0 (※3)	1
普通課程の 普通職業訓練修了	2,800h未満 2,800h以上			0	0	1
専門課程の高度職業訓練修了	3	1	2	0	0	0
応用課程の高度職業訓練修了	1		0		0	0
長期課程の指導員訓練修了	1		0		0	0
職業訓練指導員免許取得	1		-	-	-	0

※1：検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。
 ※2：大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。
 ※3：総訓練時間が700時間未満のものを含む。
 ※4：3級の技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。
 ※5：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。
 ※6：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。
 実務経験年数は申請書受付締切日10月13日(金)現在の検定職種に係る実務経験年数をいいます。

3. 試験の免除

技能検定試験において、実技試験、学科試験が免除される資格、級別、期間の主なものは次のとおりです。申請書提出の際、その資格を証明する書類(コピー)を添えて提出して下さい。

免除資格一覧表(抜粋)

免除対象者	免除される職種・等級及び期間
職業訓練指導員試験に合格した者又は職業訓練指導員免許を受けた者	相当する検定職種の1級、2級及び3級の学科試験は免除
1級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の1級、2級及び3級の学科試験は免除
2級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の2級及び3級の学科試験は免除
3級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種3級の学科試験は免除
単一等級の技能検定試験に合格した者	同一検定職種の単一等級の学科試験は免除
特級の実技試験又は学科試験に合格した者	同一検定職種の特級の実技試験又は学科試験は5年間免除
1級、2級、単一等級及び3級の実技試験又は学科試験に合格した者	同一検定職種(当該科目)の1級、2級、単一等級及び3級の実技試験又は学科試験は免除
建築士法による1級及び2級の建築士の試験に合格した者	建築大工及びブロック建築の1級及び2級並びに枠組壁建築の単一等級の学科試験は免除
建築士法による木造建築士試験に合格した者	建築大工の1級及び2級並びに枠組壁建築の単一等級の学科試験は免除
専門課程の技能照査に合格した後、4年以上の実務経験を有する者	相当する検定職種の1級の学科試験は免除
専門課程の技能照査に合格した後、1年以上の実務経験を有する者	相当する検定職種の単一等級の学科試験は免除
普通課程の技能照査に合格した後、2年以上の実務経験を有する者	相当する検定職種の単一等級の学科試験は免除
技能照査に合格した者	相当する検定職種の2級及び3級の学科試験は免除
短期課程の普通訓練(1級技能士コース)を修了した者	相当する検定職種の1級及び2級の学科試験は免除
短期課程の普通訓練(単一等級技能士コース)を修了した者	相当する検定職種の単一等級の学科試験は免除
短期課程の普通訓練(2級技能士コース)を修了した者	相当する検定職種の2級の学科試験は免除
技能五輪全国大会において技能証の交付を受けた者	相当する検定職種の1級の実技試験は免除
技能五輪地方大会において技能証の交付を受けた者	相当する検定職種の2級及び3級の実技試験は免除
同一検定職種に関し都道府県技能検定委員の職にあった期間が通算して2年以上である者	同一職種(当該科目)の1級、2級及び3級の実技試験は免除

4. 受検申請手続

(1) 受検申請方法

所定の受検申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて、受検申請受付期間内に郵送または持参にて申請して下さい。

※申請書は、申請書裏面の「記入上の注意」をよく読んで記入して下さい。特に、氏名、住所、生年月日は略字や俗字を使わず正確に記入して下さい。(記入例は当協会のホームページに掲載しています。)

(2) 受検手数料の支払方法

実技試験及び学科試験の受検手数料(2級・3級を受検の35歳未満の方、在校生の方は実技受検手数料が引き下げになっています。)を確認の上、別添の専用振込用紙を使用し、受検申請書に振込通知書(副)を貼り付けし提出して下さい。ATM、インターネットバンキング等でも振込は可能ですが、その場合、振込手数料はご負担下さい。また、振込が完了したことがわかるものを添付して下さい。

振込先 鳥取銀行 鳥取支店 普通預金 0072641

口座名義 鳥取県職業能力開発協会

※事業所等で受検者が複数の場合は、受検手数料を取りまとめて振り込んで下さい。

※免除となる試験の手数料は不要です。

※受検申請受付後は、いかなる理由でも受検手数料はお返しいたしません。

(3) 申請書の提出先

鳥取県職業能力開発協会

〒680-0845 鳥取市富安2丁目159 久本ビル5F

(4) 受付期間

平成29年10月2日(月)から10月13日(金)まで

※郵送の場合は10月13日の消印まで有効です。

(5) 必要書類

①申請書の提出に当たっては、すべての方が「本人確認書類」として、次のいずれかの書類の写しの提出が必要です。

・運転免許証、個人番号カード(個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること)、その他日本の官公庁が発行した身分証明書(氏名及び生年月日が確認できるものに限る。)

・健康保険被保険者証

・生徒手帳、学生証(氏名及び生年月日が確認できるものに限る。) など

②実技試験及び学科試験の免除を受ける場合は、申請書の「試験の免除」欄に必要事項を記入し、その証明書類の写しを添付して下さい。記入のない場合、免除資格があっても免除を受けることはできません。

(6) 受検申請書等の配付先

当協会以外にも、鳥取県立産業人材育成センター倉吉校及び米子校、ポリテクセンター鳥取、ポリテクセンター米子でもお渡しします。

(7) その他

・受検申請書提出後に転居された場合、又は転居の予定がある場合は速やかに当協会までご連絡下さい。

・資格、経験年数等申請に偽りがあったときは、受検を取り消すか、合格を取り消すことがあります。

・実技試験及び学科試験の両方の免除を受ける資格のある方は、受付期間内に限り、実施公示された職種以外でも受付いたします。

5. 試験の期日・場所

(1) 実技試験

試験実施期間 平成29年12月4日(月)から平成30年2月18日(日)まで
 試験日、試験会場、集合時間等については受検票で通知します。
 11月下旬までに通知がない場合は必ず当協会までお問い合わせ下さい。

試験問題公表日 平成29年11月27日(月)

実技試験問題は受検票と併せて送付します。ただし、公表できない職種は、概要のみ送付します。

(2) 学科試験

試験会場、集合時間等については受検票で通知します。

6. 合格発表

平成30年3月16日(金)に合否に関わらずその旨の通知をいたします。

また、当協会のホームページ、携帯サイトにおいても、合否の確認ができます。

なお、実技試験又は学科試験の合格通知は、今後、同一作業、同一の級の技能検定を受検する場合に限り、免除資格の証明になりますので大切に保管してください。

7. 技能検定試験の得点の開示

技能検定試験の得点(学科及び実技)については、鳥取県個人情報保護条例第19条の規定により、下記のとおり口頭開示請求を行うことができます。

なお、電話・はがき等による合否・得点等に関する問合せや、代理の方による開示請求はできません。また、鳥取県職業能力開発協会では得点の開示は行いません。

開示内容 得点(学科及び実技)

開示期間 平成30年3月16日(金)から4月16日(月)まで

上記期間中の午前9時から午後5時まで(土・日・祝日除く)

開示場所 鳥取県雇用人材局 労働政策課

(鳥取市東町一丁目220 県庁本庁舎7階)

持参書類 受検者本人であることを証明できる書類(運転免許証、パスポート等写真付証明書)

問合せ先 電話 0857-26-7222

8. 個人情報の利用目的等

(1) 受検申請書にご記入いただいた個人情報については、受検票の送付、合格発表等技能検定の円滑な実施のために利用いたします。

(2) 受検申請者ご本人から予め希望しない旨の申し出があった場合を除き、一部の職種(作業)について、関係団体等が実施する講習会の案内の送付等に利用するため、当該関係団体等に個人情報を提供する場合があります。

※希望しない場合は受検申請書の〈個人情報の利用目的等〉の項目の□欄にチェックして下さい。

(3) 合格発表において、受検番号を鳥取県公報、インターネット等で公表します。

技能検定、技能五輪についてなお詳しく知りたい場合は、下記にお問い合わせ下さい。

◎鳥取県職業能力開発協会 〒680-0845 鳥取市富安2丁目159 久本ビル5F
 電話 0857-22-3494 FAX 0857-21-6020

◎鳥取県雇用人材局 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
 労働政策課(県庁7F) 電話 0857-26-7222 FAX 0857-26-8169

技能五輪全国大会鳥取県予選参加案内(後期)

技能五輪は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会であり、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることを目的として開催される大会です。

技能五輪鳥取県予選は、技能全国大会に派遣する選手を選抜する予選として、技能検定実技試験と同時に実施されます。

1. **競技職種**……………予選の競技課題は、技能検定2級実技課題を使用します。

全国大会競技職種	対応検定職種(作業)名
機械製図	機械・プラント製図(機械製図CAD作業)
配管	配管(建築配管作業)
石工	石材施工(石材加工作業)
建築大工	建築大工(大工工事作業)
冷凍技術	冷凍空調和機器施工(冷凍空調和機器施工作業)

2. **参加資格**……………平成7(1995)年1月1日以降に生まれた方で、職歴や実務経験に関係なく参加できます。

3. **参加申込**……………参加申込は、技能検定受検申請書にしたがって手続きしてください。ただし、申請書標題の下に「技能五輪参加」と赤字で記入してください。参加手数料は、実技受検手数料と同額です。

4. **特典**……………一定水準以上の成績を取った方には、「技能証」が交付され、以後2級の技能検定実技試験が免除されます。

5. **全国大会への推薦**……………競技職種ごとの成績優秀者は、第56回技能五輪全国大会に推薦します。

平成29年度後期技能検定 実技試験問題の概要

平成29年度(後期)技能検定実技試験問題の概要は次のとおりですが、試験時間・試験内容につきましては一部変更される場合もあります。(最新の状況については中央協会HPをご参照下さい。)

なお、試験時間について、「試験時間 ○時間○分」と記載されている場合は、試験開始から終了までの作業可能な時間を表しています。一方、「標準時間 ○時間○分 打ち切り時間 ○時間○分」と記載されている場合は、打ち切り時間まで作業可能ですが、標準時間を超過した時間数に応じて減点されます。

また、**免許又は技能講習**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第61条第1項又は道路交通法第84条に基づく資格証等(例:ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証、自動車運転免許証)を携帯していなければ、原則として試験を受検することができない他、**特別教育**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第59条第3項に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しを提示するか又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定する様式により申告していただきます。

平成29年度(後期)技能検定試験における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、平成29年4月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、実作業の現場における普及状況等を勘案し、一般的に使用されている従前の施行内容に基づく場合もあります。

【特 級】

以下の12職種について、次に掲げる計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

計画立案等作業試験は、工程管理、作業管理、品質管理、原価管理、安全衛生管理、作業指導及び設備管理について行う。

試験時間 3時間

金属熱処理、機械加工、放電加工、金属プレス加工、めっき、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、空気圧装置組立て、建設機械整備、紳士服製造、プラスチック成形

【1・2級】

さく井(ロータリー式さく井工事作業)

1級 次に掲げる判断等試験(旧:要素試験)及び計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。

試験時間 24分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。

試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる判断等試験(旧:要素試験)及び計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。

試験時間 30分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。

試験時間 1時間30分

鍛造(プレス型鍛造作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験(旧:作業試験)及び計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

(1) 製作等作業試験は、金型をプレス型鍛造機に取り付け、調整のための試し打ち

を行った後、仕上げ工程を含む3工程以上の熱間鍛造を行う。また、試験時間外に鋼材の目視温度測定を行う。

標準時間 1時間45分~2時間15分 打ち切り時間 2時間5分~2時間35分

(2) 計画立案等作業試験は、製品の検査、材料の加工、材料の加熱、製品の欠陥判別等について行う。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験(旧:作業試験)及び計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

(1) 製作等作業試験は、金型をプレス型鍛造機に取り付け、調整のための試し打ちを行った後、仕上げ工程を含む2工程以上の熱間鍛造を行う。また、試験時間外に鋼材の目視温度測定を行う。

標準時間 1時間45分~2時間15分 打ち切り時間 2時間5分~2時間35分

(2) 計画立案等作業試験は、製品の検査、材料の加工、材料の加熱、製品の欠陥判別等について行う。

試験時間 1時間

ロープ加工(ロープ加工作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験(旧:作業試験)を行う。

ワイヤもっこの現寸図を作成して、ワイヤもっこを製作する。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

2級 次に掲げる製作等作業試験(旧:作業試験)を行う。

ワイヤロープを使用して、玉掛索及びショートスプライスによるエンドレス索を製作する。

標準時間 2時間20分 打ち切り時間 2時間35分

機械検査(機械検査作業)

1級 次に掲げる製作等作業試験(旧:作業試験)及び計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

(1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(26箇所)を行う。

試験時間 13分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの性能判定(ブロックゲージによる指示誤差(器差)及び平行度測定)を行う。

試験時間 8分

(2) 計画立案等作業試験は、複雑な形状の部品の精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験(旧:作業試験)及び計画立案等作業試験(旧:ペーパーテスト)を行う。

(1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(21箇所)を行う。

試験時間 11分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

- ④外側マイクロメータの指示誤差（器差）測定（ブロックゲージ使用）を行う。

試験時間 6分

- (2) 計画立案等作業試験は、単純な形状の部品の精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 1時間45分

電気機器組立て（シーケンス制御作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間10分 打ち切り時間 2時間30分

- (2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ（PLC）のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

試験時間 1時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間 打ち切り時間 2時間20分

- (2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ（PLC）のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

試験時間 1時間

鉄道車両製造・整備（鉄道車両点検・調整作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

配電盤、パンタグラフ（又は機関、機関付属機器）、戸閉装置の点検・調整及び台車の測定について行う。

標準時間 2時間10分 打ち切り時間 2時間50分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

配電盤、パンタグラフ（又は機関、機関付属機器）、戸閉装置の点検・調整及び台車の測定について行う。

標準時間 2時間10分 打ち切り時間 2時間50分

空気圧装置組立て（空気圧装置組立て作業）

- 1級 次に掲げる判断等試験（旧：要素試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 判断等試験は、空気圧回路図の判定、検出器（センサ）の判定、空気圧シリンダの判定等について行う。

試験時間 45分

- (2) 計画立案等作業試験は、空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。

試験時間 2時間

- 2級 次に掲げる判断等試験（旧：要素試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 判断等試験は、検出器（センサ）の判定、電磁弁の判定、空気圧機器の判定等について行う。

試験時間 45分

- (2) 計画立案等作業試験は、簡単な空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。

試験時間 2時間

農業機械整備（農業機械整備作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、トラクタの不良箇所の整備、電気回路の配線、傾斜検出センサによる出力電圧の測定、トラクタのバッテリー電圧・充電電圧の測定及びトラクタの点検について行う

試験時間 50分

- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備、工数見積り及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。

試験時間 1時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、電磁バルブの整備、電気回路の配線、インジェクションノズルの噴射圧力の調整、可変抵抗器による抵抗測定・回転角度測定、導線の導通テスト及び抵抗測定、トラクタの点検について行う。

試験時間 1時間5分

- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。

試験時間 1時間

冷凍空調和機器施工（冷凍空調和機器施工作業） 免許又は技能講習

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により立体的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。

標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間

- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。

試験時間 1時間30分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により平面的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。

標準時間 1時間30分 打ち切り時間 2時間

- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。

試験時間 1時間30分

- (注) 製作等作業試験については、1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。

石材施工（石材加工作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

中硬石又は硬石を使用して、浮彫り紋様のある石製品を製作する。

ただし、みがき加工は行わない。

中硬石の場合 標準時間 3時間40分 打ち切り時間 4時間

硬石の場合 標準時間 6時間 打ち切り時間 6時間30分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

中硬石又は硬石を使用して、沈み彫り紋様のある石製品を製作する。

ただし、みがき加工は行わない。

中硬石の場合 標準時間 2時間40分 打ち切り時間 3時間

硬石の場合 標準時間 4時間10分 打ち切り時間 4時間40分

建築大工（大工工事作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

振隅木小屋組の平面図、振隅木及び配付たる木の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。

標準時間 5時間30分 打ち切り時間 5時間45分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

柱建て四方転びの平面図、正面図、側面図及び柱の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。

標準時間 5時間30分 打ち切り時間 5時間45分

かわらぶき（かわらぶき作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

屋根下地に、引掛け棧葺きにより瓦葺きを行う。

なお、軒先には、一文字軒瓦を使用する。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間30分

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

屋根下地に、引掛け棧葺きにより瓦葺きを行う。

なお、軒先には、万十軒瓦を使用する。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間30分

配管（建築配管作業）

- 1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 3時間50分

- (2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。

試験時間 2時間

- 2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

- (1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。

標準時間 2時間30分 打ち切り時間 2時間50分

(2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。

試験時間 2時間

標準時間 1時間40分 打ち切り時間 2時間10分

配管（プラント配管作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

(1) 製作等作業試験は、水道用硬質ポリ塩化ビニル管（呼び径75）等をエルボ、フランジ等の管継手で組み立て、接着によりプラント配管系統の一部を製作する作業を行う。

標準時間 4時間 打ち切り時間 4時間30分

(2) 計画立案等作業試験は、アイソメ図の作成及び作業手順、スプール図による工数等の見積りについて行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

(1) 製作等作業試験は、水道用硬質ポリ塩化ビニル管（呼び径75・呼び径50）等をエルボ、フランジ等の管継手で組み立て、接着によりプラント配管系統の一部を製作する作業を行う。

標準時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間

(2) 計画立案等作業試験は、配管図による材料取り及び現図型取りについて行う。

試験時間 2時間

型枠施工（型枠工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

(1) 作業試験は、型起こし台（合板パネル）上に基礎型枠（片側半分のもの）の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 5時間 打ち切り時間 5時間30分

(2) ペーパーテストは、躯体図及び仕様等に従い、型枠加工図（下ごしらえ図）に必要な寸法、パイプサポートの位置等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる作業試験を行う。

型起こし台（合板パネル）上に基礎型枠（片側半分のもの）の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 5時間 打ち切り時間 5時間30分

鉄筋施工（鉄筋組立て作業）

1級 次に掲げる作業試験を行う。

曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合い部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間40分 打ち切り時間 2時間10分

2級 次に掲げる作業試験を行う。

曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合い部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間20分 打ち切り時間 1時間40分

コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）

1級 次に掲げる要素試験及びペーパーテストを行う。

(1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプの関係部品の名称及び用途、ブーム付きコンクリートポンプ車の操作、フレッシュコンクリートの受入検査及び用途等について行う。

試験時間 50分

(2) 計画立案等作業試験は、コンクリートの圧送条件、コンクリートの打込み、コンクリートポンプ車の設置等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる判断等試験（旧：要素試験）及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）を行う。

(1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプの関係部品の名称及び用途、ブーム付きコンクリートポンプ車の操作、コンクリートポンプ車の不具合と原因等について行う。

試験時間 50分

(2) 計画立案等作業試験は、コンクリートのポンプ圧送性、洗浄作業、コンクリートポンプ車の点検・整備等について行う。

試験時間 2時間

防水施工（合成ゴム系シート防水工事作業）

1級 次に掲げる作業試験を行う。

試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に合成ゴム系シート防水を行う。

標準時間 2時間30分 打ち切り時間 3時間00分

2級 次に掲げる作業試験を行う。

試験台の平場及び立上がりの各部に合成ゴム系シート防水を行う。

防水施工（塩化ビニル系シート防水工事作業）

1級 次に掲げる作業試験を行う。

試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水を行う。

標準時間 1時間50分 打ち切り時間 2時間20分

2級 次に掲げる作業試験を行う。

試験台の平場、立上がりの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水を行う。

標準時間 1時間50分 打ち切り時間 2時間20分

防水施工（改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業）

1級 次に掲げる作業試験を行う。

試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水を行う。

標準時間 2時間 打ち切り時間 2時間30分

2級 次に掲げる作業試験を行う。

試験台の平場及び立上がりの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水を行う。

標準時間 2時間 打ち切り時間 2時間30分

ガラス施工（ガラス工事作業）

1級 次に掲げる作業試験及びペーパーテストを行う。

(1) 作業試験は、与えられた試験台、図面等に基づいて、アルミサッシの組立て・取付け作業、板ガラスの切断・加工作業、板ガラスの方立工法・弾性シーリング工法・グレイジングガスケット工法による板ガラスの取付け作業、建築窓ガラス用フィルムの貼付け作業、鏡を想定したガラスの原寸図の製図・切断・加工・貼付け作業を行う。

標準時間 2時間50分 打ち切り時間 3時間10分

(2) ペーパーテストは、立面図、建具詳細図等に基づき、適正なガラスの寸法、ガラス工事に必要な工事費の算出等について行う。

試験時間 1時間45分

2級 次に掲げる作業試験を行う。

与えられた試験台、図面等に基づいて、アルミサッシの組立て・取付け作業、板ガラスの切断・加工作業、板ガラスの方立工法・弾性シーリング工法・グレイジングガスケット工法による板ガラスの取付け作業、建築窓ガラス用フィルムの貼付け作業を行う。

標準時間 2時間20分 打ち切り時間 2時間40分

機械・プラント製図（機械製図CAD作業）

1級 次に掲げる作業試験を行う。

実技試験問題（計算問題を含む）及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図をCADにより作成する。

試験時間 5時間

2級 次に掲げる作業試験を行う。

実技試験問題及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図をCADにより作成する。

試験時間 4時間

塗装（鋼橋塗装作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

- (1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
- (2) 塗料の調合作業
- (3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業
- (4) 塗膜厚測定作業

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

- (1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
- (2) 塗料の調合作業
- (3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業

試験時間 50分

[単一等級]

電子回路接続（電子回路接続作業）

単一等級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

プリント配線板（以下、プリント板という）に、抵抗器、コンデンサ、トランジスタ等の電子回路用部品をはんだ付けによって接続し、プリント板の組立てを行う。また、シャーシに、電線等の電子回路用部品をねじ締め、圧着及びはんだ付けによって接続し、シャーシの組立てを行う。

ただし、この回路は電子回路としての機能を持たないものとする。

なお、環境問題から、はんだ付けには鉛フリーはんだを使用する。

標準時間 3時間 打切り時間 3時間15分

樹脂接着剤注入施工（樹脂接着剤注入工事業）

単一等級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業、ひび割れ部のUカットシール材充填作業及び欠損部の補修の作業を行う。

標準時間 1時間40分 打切り時間 2時間

[3 級]

機械加工（普通旋盤作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

普通旋盤（センチ間の最大距離が500～1500mm程度のもの）を使用し、 $\phi 60 \times 115$ mm程度のS45Cの材料1個及び $\phi 60 \times 55$ mm（ $\phi 25$ の穴のあいたもの）程度のS45Cの材料1個に、内外径削り、テーパ削り等の切削加工を行い、はめ合わせのできる部品を2個製作する。

なお、使用するバイトの品種は、超硬、ハイス、その他のものでもよい。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間30分

機械検査（機械検査作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

作業1 外側マイクロメータ、ノギス及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定（16箇所）を行う。

試験時間 16分

作業2 三針法によるねじプラグゲージの有効径を測定する。

試験時間 8分

作業3 外側マイクロメータの指示誤差（器差）測定（ブロックゲージ使用）を行う。

試験時間 10分

電子機器組立て（電子機器組立て作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

シャーシ、専用プリント配線板、IC、トランジスタ等の部品を用い、光検出器の組立てを行う。

標準時間 1時間30分 打切り時間 2時間

電気機器組立て（シーケンス制御作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 1時間35分 打切り時間 1時間55分

内燃機関組立て（量産形内燃機関組立て作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

作業1 内燃機関（ディーゼル機関又はガソリン機関のうち指定するいずれかの機関）の組立てを行う。

2 輪用エンジンの場合 標準時間 1時間15分 打切り時間 1時間30分

その他のエンジンの場合 標準時間 1時間 打切り時間 1時間15分

作業2 提示された内燃機関部品の寸法測定等を行う。

試験時間 10分

家具製作（家具手加工作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

製作図に基づき、手工具を使用して各種仕口工作を行い、わく状の課題を製作する。

標準時間 2時間30分 打切り時間 3時間

建築大工（大工工事業）

3級 次に掲げる製作等作業試験（旧：作業試験）を行う。

材料に直接墨付けした後、桁、はり、つか、むな桁及びたる木の加工組立てを行い、切り妻小屋組の一部を製作する。

標準時間 2時間45分 打切り時間 3時間

